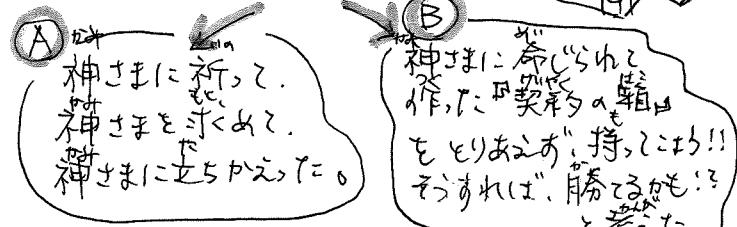


なまえ

6月20日(木)サムエル記I 4:2.3

神さまのメッセージをたづねて
サムエルがイスラエルの預言者
とば、てから、イスラエルはヘブライ人と
この時、イスラエルの兵士が、
4000人も死んでしまいました。
そこ、イスラエルたちは、
どちらを選びましたか？



→ 神さまに祈り、立ちかえることとしたかった
イスラエルは、けっこう、持ってきた。でも、
もヘブライ人にあはれて、負けてしまい、
大祭司エリも鳥子たちも、死んでしまいました。
大切なのは、ものよりも神さまから
メッセージを志す、いつも神さまにまことに
おはります。

6/17 いのりがこたえられたハンナは
(げふうび) おいのり → サムエル第一 2:1~3
ハンナはいのりさんびかんしやしたよ

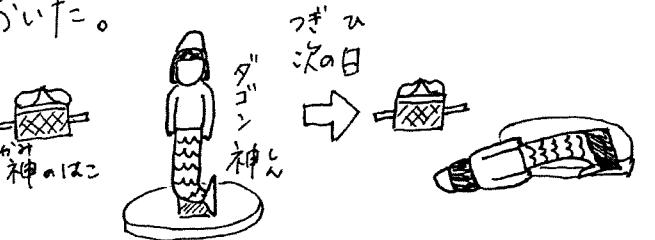
よろこびをくださる つよくしてくれる
おきいぬし ただおひとりのかた
せいなるかた 岩(いわ)
みわざは はかり
みわざを しきみさま しゃれまい

もういちど声をだして1~3セツ(よめるこは10歳まで)
よんでもみよう

めいきん 神さまがしてくれたこと
おもいだしてかんしやしさんびしよう

6/21(金) タゴンへのさばき イサムエル記 5:2~4

ペリシテ人は、イスラエルから神のほとを
うばい、アシドデにあるタゴンのしんでんに
おいた。



アシドデの人は、タゴンをもとのほとにもど
たけど、さらに次の日にには、タゴンのあたまと
りよっては、せりはなされ、どうたいとバラバラにな
った。 ぐうぞうの神は、人の手がなければ、くじ
こともできないけど、まことの神さまは、生きて
おられる。あるおがたなんだ。
おはいり ちからあるがけさま、あなたに
しんらいします。

6/18(火) サムエル2:35 主の心を重んじる
少年サムエルは神のみもとで成長した
サムエルは、祭司エリのもとで主に仕えるようになったよ
小さいサムエルはいつようけんめいに主に仕えていたよ
そしてある日、神の人が来て
エリよ、なぜあなたはわたしよりも自分の見よざを重んじて自分たちを肥やすのか
それゆえわたしを重んじる者をわたしは重んじ 薙す者を軽んじる者
神さまを大事にして成長していく
ますます成長した

6/19(水) 「主のことは」とき、したがう
第1 サムエル 3:1~10
自分の名まえをよばれて子の人に気がつかないこと、ないか？ おちゅうになれてあそびていたときや、よび声が小さくてきこえてみがたたり、ねむっていたり…
サムエルはねむっていたときに
はっきりよばれる声をきいて
3回もエリ(せんせい)のところに行きたかった。
神さまはハツキ よびれたし、サムエルはハツキ
二度と行った。
神さまに「お話しください、何もはきりあります」と
へんじました。サムエルに語られたことは、いつもことじ
ことじでした。とてもおもしろいことだった。
サムエルは神までおもれ、聞ききき、またいた。
神さまはおきり語り、教えてくださいました。
サムエルは神までおもれ、こたえていただけました。

6/23(日) 叫びに答えてください

6/22(土) 神さまは聖なる方
サムエル記 第1 6:19,20
神さまは聖なる方なので罪入である
人間が神さまに近づくことができな
かったよ
神の箱の中を見てしまった
民はさばきにあたひだ
今はイエスさまがきみと
聖なる神さまの間に立ってくださっている
できみは神さまにいつも近く
ことができるよ。

ペリシテ人が攻めて
さい時、主は靈として
させペリシテ人を動搖
させに! イスラエルはペリシテ人を
打ち負かして! サムエルがイスラエルを
治めていた間、主がペリシテ人に尼をかけていた
ので、ペリシテ人は2度とイスラエルに来るなかに!